

事務事業名	移住定住促進事業				担当	総合政策部 情報政策課 シティプロモーション係		
政策名	6	「魅力づくり」～市民の力アップ!～				☒ 総重（総合計画重点事業） ☐ 戦拡（総合戦略拡充事業）	☐ 総新（総合計画新規事業） ☐ 戦新（総合戦略新規事業）	
施策名	1	都市ブランド戦略の推進						
関連個別計画	真岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 毎年度実施（開始年度 平成31 年度～） ☐ 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）	
法令根拠								
予算科目	1.一般会計	2.総務費	1.総務管理費	6.企画費				
事業概要	まち・ひと・しごと創生総合戦略により、平成28年度から企画課企画調整係に総合戦略係を併設。平成31年度、情報政策課シティプロモーション係を新設。人口減少対策及び「選ばれる都市もおか」への移住定住の促進を実施し人口増加を図る。とちぎ・しごと支援センター（ふるさと回帰支援センター内）と連携し、情報収集、切れ目ない支援、移住定住セミナーを実施し移住定住促進を図る。							

1. 現状把握の部（1）事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動） 2年度実績 ◆定住促進事業 1.中学生（2年生）向け：パンフレット配布 2.高校生向け：ウィクリー裏面メッセージ広告 3.大学生向け：成人式お祝いの品配送業務 4.県単：定住促進事業事業（高校生向け） ◆移住促進事業 1.オンライン移住相談 2.ロゴフォームでの問合せ 3.個別移住相談体験補助金 3年度計画 ◆定住促進事業 1.中学生（2年生）向けパンフレット配布 2.高校生向け動画作成 3.大学生向け成人式お祝いの品配送業務 4.県単定住促進事業事業（高校生向け） ◆移住促進事業 1.オンライン移住相談 2.ロゴフォームでの問合せ 3.個別移住相談体験補助金 4.首都圏に向けた動画広告				④活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
				名称		単位	29 年度(実績)	30 年度(実績)	31 年度(実績)	2 年度(実績)	3 年度(見込)
				ア	中学生向けパンフレット配布人数	人	—	—	—	757	750
				イ	成人式対象人数	人	—	—	—	922	900
				ウ	移住定住イベント開催件数	回			6	0	6
				エ	個別移住相談体験補助金交付件数	件	—	—	5	1	3
				オ							
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 市内中高校生、本市出身大学生、地方への移住希望者				⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
				名称		単位	29 年度(実績)	30 年度(実績)	31 年度(実績)	2 年度(実績)	3 年度(見込)
				ア	市内中高校生・成人式対象者人数	人	—	—	—	6,277	6,263
				イ	ふるさと回帰支援センター来訪・相談件数	件	33,615	41,518	49,401	38,320	40,000
				ウ							
				エ							
				オ							
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 移住定住促進事業を実施していくことで、本市に住み続けたい、移住したい（住んでみたい）と思ってもらう。				⑥成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
				名称		単位	29 年度(実績)	30 年度(実績)	31 年度(実績)	2 年度(実績)	3 年度(見込)
				ア	中学生アンケート（住み続けたい）	%	—	—	—	55	60
				イ	移住相談件数（オンライン・ロゴ含み）	件	2	30	47	22	25
				ウ	社会増減数	人	104	116	-141	51	100
				エ	高校生アンケート（4年1回）（住み続けたい）	%	—	—	36	—	—
				オ							
② 総事業費の推移				単位	29 年度(実績)	30 年度(実績)	31 年度(実績)	2 年度(実績)	3 年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0		
			県支出金	千円	0	0	0	285	350		
			地方債	千円	0	0	0	0	0		
			その他	千円	0	0	0	0	0		
			一般財源	千円	0	0	330	1,524	3,563		
	事業費計（A）			千円	0	0	330	1,809	3,913		

2. 1 次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 市の政策体系に結び付き、社会環境や住民ニーズ等を考慮した上で目的は妥当か？	☒ 見直し余地はない ☐ 見直し余地がある (評価理由) 対象者、対象世代と接点を持ち、本市の魅力住みやすさの情報を発信気づかせることで、移住定住促進に結び付く
	②公共関与の妥当性 市が事業に関与する必要があるか？	☒ 見直し余地はない ☐ 見直し余地がある (評価理由) 移住定住促進は、行政自らが行う事業である。
	③対象と意図の妥当性 ・1枚目の②「対象」③「意図」は適切か？ ・対象を限定・追加する必要があるか？ ・意図を限定・追加する必要があるか？	☒ 対象・意図を見直す必要はない ☐ 対象を見直す必要がある ☐ 意図を見直す必要がある (評価理由) 適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるかどうか？ない場合の理由は適切か？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	☐ 向上余地はない ☒ 向上余地がある (評価理由) 事業実施して2年であり、直ぐに成果が出る事業ではない。 継続していくことで成果が上げられると考えられ、継続していく中で社会状況に合わせた対応をとる必要がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 ・類似事業はないか、統合や連携はできないか？	☒ 類似事業と統合・連携ができる (類似の事務事業名：) ☐ 類似事業と統合・連携できない (類似の事務事業名：) ☐ 類似事業はない (評価理由) 移住定住促進事業は、対象者に本市の情報を発信し、移住定住の際の支援をするUターン就業定住助成事業、就労者定住促進奨学金返還支援事業、合同就職面接会開催事業と連携することで、移住定住促進の強化が図られる。
効率性評価	⑥事業費の削減余地 ・成果を下げずに実施主体の見直しによりコスト削減をできないか？ ・実施方法の適正化によりコスト削減をできないか？	☒ 削減余地がない ☐ 削減余地がある (評価理由) 事業実施するにあたり最小の経費である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性 (改革案・実行計画) ☐ 廃止 ☒ 見直し (☐ : 目的妥当性 ☒ : 有効性 ☐ : 効率性 ☐ : 公平性) ☐ 統合 ☐ 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td>△</td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td>△</td><td>△</td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			△	低下		△	△
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上			○																		
	維持			△																		
	低下		△	△																		
(2) 課題、課題の克服の方向性																						

4. 事務事業の 2 次評価結果 (事業の総括と事業の方向性)

(1) 1 次評価結果の客観性と出来具合 ☐ 記述説明不足 (説明責任不充分) ☐ 評価内容が客観性を欠く ☒ 評価内容は客観的と言える																						
(2) 2 次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ②有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																						
(3) 2 次評価者として判断した今後の事業の方向性 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的絞込み ☐ 目的拡充 ☐ 事業統廃合 ☒ 事業のやり方改善 ☐ 予算削減 ☒ 予算増大 ☐ 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他 2 次評価会議で指摘された事項 <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td>△</td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td>△</td><td>△</td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			△	低下		△	△
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上			○																		
	維持			△																		
	低下		△	△																		